

様式 4

令和 4 年度						
富士見市特別職報酬等審議会						
議事録						
日 時	令和 4 年 1 2 月 2 6 日 (月)		開会	午後 1 時 3 0 分		
			閉会	午後 2 時 4 5 分		
場 所	富士見市役所 2 階 市長公室					
出席者	委 員	長根委員	木幡委員	安藤委員	長田委員	根本委員
		欠	○	○	○	○
		大久保委員	山本委員	横山委員	吉野委員	細田委員
		○	○	○	○	○
	事務局	古屋総務部長 職員課：高橋課長、高野副課長、相蘇主査、村木主査				
公開・非公開	公開（傍聴者なし）					
議 題	(1) 特別職の期末手当の改定に関する意見について					

議 事 内 容

- 1 開会
- 2 審議会委員委嘱状交付
《市長から各委員に委嘱状を交付》
- 3 市長あいさつ
《省略》
- 4 委員紹介
- 5 会長選出
委員からの推薦がなかったため、事務局から大久保委員を推薦したところ、本人及び各委員の了承を得ました。
- 6 会長あいさつ
《省略》
- 7 審議
《総務部長から大久保会長に対して、富士見市特別職報酬等審議会への依頼書を提出》

別紙 1 の通り

会長 忌憚のないご意見をいただければと思います。それでは、事務局から資料の内容説明をお願いします。

《事務局による説明》

会長 事務局から説明を受け、意見を求める事項であります議会の議員並びに市長、副市長及び教育長の期末手当の支給月数の見直しに関しまして、ご意見やご質問等がありますか。

委員 他市より低い状況にあるので、これでいいのかという思いはあります。10%くらい上げるとだいぶ上の順位にいつってしまう。議員になりたいという話も聞きますが、議員報酬だったり内容だったりで実際の成り手となるとなかなか難しい。少なくとも中小企業くらいの給与体系までもっていてもいいのでは。財政状況のことはあるが、15位から20位くらいまでは上げてもいいと思います。

委員 昨今の状況をみますと、物価高は避けて通れない問題で、食費や光熱費などほぼ全てのジャンルで価格が高騰している状況です。これに対応するための支給額の増加と考えれば妥当性はあると思います。また、民間の冬のボーナスは、日本経済新聞の調査になります。+9.7%で約1割増えており、伸び率は過去最高となっています。そうした情勢と、富士見市は市税の徴収率で県内1位を獲得されたということで、税金の方も職員が一つひとつ積み重ねている。そういったところを総合的に考えますと、増額も妥当であると考えます。

委員 一般職の職員が増額しているということなら、特別職についても同様に上げることが必要であると考えます。

委員 富士見市の特別職の方々、イベントなどに非常に積極的に参加されており、業務量も他団体より多いのではないかなという印象です。そういった部分も考慮し、人勸なども踏まえまして、できる限り増額の方向で検討してもいいのではと感じております。

委員 冬のボーナスの支給予測などをみると、民間も総じてプラスとなっており、中小企業の景況感も改善傾向にあります。原油高などの先行き不透明感を拭えないことはありますが、昨年と比べると景況感はいくら改善しています。期末手当の順位が低い中で昨年はマイナスだったということを見ると、人事院勧告どおり増改定が筋ではないかと思えます。

委員 一般職では時間外手当があり、人によっては特別職と同じくらいの年収になることもありますが。

事務局 時間外勤務は増加傾向にありますが、特別職と同水準まで年収が増えることはありません。

委員 資料によると市長の年収が約1,500万円くらいとなっており、他団体の話ではありますが、部長クラスでもこれくらいもらっている人もいたという話を聞いた気がします。人口規模を考えるとせめて40市の中で半分くらいの位置を保つべきだろうし、仕事に対する対価はきちんと支払うべき。あと議員の方も一生懸命やっているから、それも併せて上げた方がいい。ここを上げないと市民の給与にも反映されてこないのでは。

委員 この3年間コロナ禍の中で発熱外来や入院の対応は本当に大変だった。このコロナの中で、行政といろいろな話し合いや折衝をしてお互いに協力してやっていくことが大事だということを実感した。ワクチンや発熱外来の関係で会議や打ち合わせなどをやり、行政の仕事も増えている。これに対して報いないのもどうかと思う。人口規模や財政規模が類似している団体と比べても少ない水準にあり、ふじみ野市よりも低いということなので、上げた方がいいのかなと思います。

委員 一般職と同じく増額でいいと考えます。特別職と一般職の差が出てしまったのは、一時期富士見市の財政力指数が下の方で、財政状況が厳しかった時には特別職を据え置きとしたことによるもの。今は税収も上向きになってきて、徴収率もトップということなら、一般職と同じでもいいのではと思われれます。

会長 皆様の意見を伺うと、特別職も頑張っているという印象でモチベーションのことを考えても上げるのは妥当ということで、アップさせてもいいのではないかというご意見だったかと思いますが、ではどのくらい上げたらいいのでしょうか。

委員 0.1月の増では改善されないのでは。

委員 財政的な面も考えると、一気に上げるのも難しいのでは。増額改定の時には上げて、下がった時には下げず、少しずつ時間をかけて上げていくのがいいのでは。

会長 県内の順位は低いが、人口規模や税収、財務状況など全体的に勘案するといたし方ない部分もあるかと思えます。突発的に上げると市民目線からすると、市民も苦しいところがあるのという感情もないわけではない。どこかで妥協点も必要というご意見もありますが。

事務局 他市と乖離しているのも事実で、どこかで改善することも必要と考えています。

会長 昨年は人勧を踏まえて0.15月の引下げとしたので、今回も人勧どおり0.1月の引上げということでどうでしょうか。

委員 妥当であると考えます。

委員 そうすべきであると思っています。

委員長 皆様の意見をまとめると、0.1月アップということでよろしいでしょうか。

事務局 これまでの議論を踏まえて、整理させていただきますと、まず、人事院勧告の結果を踏まえ、一般職と同様0.1月の引上げとし、これを来年度から、0.1月分を6月と12月の2回で均等に分けてプラスするということがよろしいでしょうか。また、今後の審議につきましては、これまでの経過を踏まえますと、人勧や財政状況などを踏まえて、審議会を開催してご審議いただくということでもよろしいでしょうか。

会長 今回の事務局のとおり、期末手当については、市長、副市長並びに教育長、議員については、0.1月の引き上げとしたいと思えます。承認いただける方は挙手をお願いいたします。

《全員挙手》

それでは、回答案を準備しますので、10分ほど休憩をお願いします。

《休憩》

《再開》

再開します。皆様のお手元に、休憩前に検討した審議内容をもとに、回答案を提示しました。事務局から回答案の朗読をお願いします。

《回答案朗読》 別紙2のとおり

審議会として回答案のとおりの内容で回答することに賛成いただける方は、挙手をもってご承認いただければと思います。

《挙手全員》

それでは皆様の同意を得ましたので、回答案のとおり回答することに決しました。皆様のご協力により、滞りなく審議を進めることができました。ここで進行を事務局に戻します。

8 閉会 《審議終了》